



敬愛

校長 持田 晃

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「冬来りなば春遠からじ」そして、「春植えざれば秋実らず」

校長 持田 晃

もう春ですね。日を追うごとに、暖かい日が多くなり、過ごしやすくもありますが、花粉の飛散情報を見ると、それもまた、過ごしにくかったりもします。

さて、「冬来りなば春遠からじ」は（ふゆきたりなばはるとおからじ）と読みます。意味は、今は大変な状況であっても、じっと耐え忍んでいれば、いずれ幸せが巡ってくるというたとえになります。イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」の一節に由来すると言われていています。これまでは、実に日本らしさを感じて思っていたのですが、イギリスの情景なのかと知りました。四季の移り変わりが情緒的に感じることや、寒い冬をじっと耐え忍ぶといったところは、春の待ち遠しさを感じたりします。皆さんは、いかがでしょうか？

もうじき春ですね。日本にとっての春は別れと出会い、旅立ちの季節でもあります。数年前には9月新年度説が騒がれてもいました。たしかに受験期が2月の寒い時期になり、インフルエンザの流行や積雪の心配などもあります。それでも、卒業や入学の時期には、桜が恋しくなります。以前は、入学式の頃が満開であったりしましたが、ここ数年は卒業式の時期に満開になることが多くあります。今年の開花はどんな風情を感じられるでしょうか？

そしてです。「春植えざれば秋実らず」になるのです。これは（はるうえざればあきみのらず）と読みます。意味は、元になることを何もしなければ、良い結果は得られないことのたとえです。春に種をまいたり、苗を植えなければ、実りの秋に収穫ができるはずはないことから、言われています。暦の上ではもうずいぶん前に立春を迎え、これから本格的な春になります。しっかりと種や苗を植えられ、皆さん一人一人の芽が丈夫に育つことを祈念します。

学校内にある梅の木は、ようやくつぼみが膨らみ、まだ咲き始めたばかりの花がちらほら見られるほどです。桜の木は、まだまだつぼみの膨らみは見られませんでした。これからの移り変わりが楽しみです。

【左】校舎と体育館の間の通路わきにある梅です。昨年は梅の実がたくさん実っていました。

【右】東門の左手にある桜の木です。まだまだ咲き始めるには時間がかかるかなという感じです。



3月4日(土)は今年度最後の学校公開

令和4年度最後の学校公開となります。午後は、保護者会がございます。年度末のご多用のところですが、ご来校をお願いします。

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO53

「お金だけでよかった」

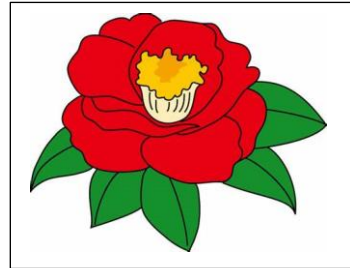
教諭 小林 裕子

私は教員になりたての頃一人暮らしをしていた。そのとき、空き巣に入られ給料の半分以上を盗まれた。刑事のような男たちが何人も来て家の中を調べ、「この近辺何軒もやられてる。お金は戻ってこないよ。」と話して帰っていった。実家に連絡した。父の声を聞いたとたん、涙が溢れてなかなか話ができなかった。泣いている私に、しばらくして、電話の向こうの父は「でもよかったよ。」と言った。・・・「命をとられたわけじゃないからよかった。お金だけでよかった。」と言ってくれた。思いもよらない言葉だった。けれど、なぜかほっとして・・・そうなのか？命はとられてないからよかったのかな、と思い始め、また明日から頑張って仕事に行かなくちゃ、と思ったのだった。

「頑張る」「大丈夫だよ」「気にしないで」「しっかりして」「こうすればよかったのに」「なにやってんのよ」。かける言葉はいろいろある。その場面、その人の人柄、性格によっても違って来るだろう。私もあの時父からもらった言葉のように、温かく、ほっとして、前を向けるような言葉をかけられる人になりたいと思っている。

三中生の活躍

(敬称略)



「東京都中学校ハンドボール新人大会」 男子の部
ハンドボール部 「第三位」



府中市美術館で開催された連合書写展です。市内全校の力作が展示され、迫力がありません。

写真は、中央に位置しているのが三中の生徒の作品です。迫力を感じてもらうため、他校と一緒に掲載しました。

